



# 東鍼会報

2015. 07 NO. 271 TŌSHIN KAIHŌ

発行  
公益社団法人  
東京都鍼灸師会  
☎ 03-3985-7501  
FAX.03-3985-7526  
www.harikyu-tokyo.or.jp

## 事業日程表 〈Nは日鍼会の略〉

### 7月

1	水	筋力アップ教室⑧ イキイキ教室A⑦	22	水	筋力アップ教室⑪ イキイキ教室B⑧ おおつかサロン
2	木	鍼灸臨床セミナー	23	木	症例検討会
8	水	(レセプト締切) 筋力アップ教室⑨ イキイキ教室B⑦ 正副会長会	25	土	療養費取扱者講習会 (前期)
15	水	筋力アップ教室⑩ イキイキ教室A⑧	26	日	都委託学術研修会 (前期)
18	土	予備審査	29	水	筋力アップ教室⑫ 在宅鍼灸推進の会②
19	日	保険審査会	31	金	広報原稿締切 (9月号)

### 8月

2	日	関東ブロック会議	16	日	保険審査会
5	水	イキイキ教室A⑨	19	水	フォローアップ① イキイキ教室A⑩
6	木	(レセプト締切) 鍼灸臨床セミナー	26	水	イキイキ教室B⑩ おおつかサロン
12	水	イキイキ教室B⑨ 新入会員説明会	27	木	症例検討会
15	土	予備審査			

### 9月

2	水	フォローアップ② イキイキ教室A⑪	16	水	イキイキ教室A⑫
3	木	鍼灸臨床セミナー	23	水	(秋分の日) イキイキ教室B⑫
4	金	(レセプト締切)	24	木	症例検討会
9	水	イキイキ教室B⑪ 理事会 新入会員説明会	27	日	臨床鍼灸スポーツトレーナー研修会 (調整中)
12	土	予備審査	30	水	広報原稿締切 (11月号) おおつかサロン
13	日	保険審査会			

支部活動の掲載について――「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。  
事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。(開始時間についてはご確認ください。)



## ごあいさつ

公益社団法人 東京都鍼灸師会  
会 長 高田 常雄

平素から会員の皆様には東京都鍼灸師会事業にご協力、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。総会においてご承認頂いた、事業を会員皆さま、理事の方々および事務職員の皆さんと、力を合わせて推進してまいります。

さて、今年度の事業として、

1. 「地域包括ケアシステム」のメンバーとして鍼灸師を活かす
2. 「在宅医療」において、やさしい鍼灸を活かす
3. 「臨床鍼灸スポーツトレーナー制度」で鍼灸の素晴らしを活かす

これらの事業を通して、現在も活躍されている会員の先生方をより多くの方々に知って頂き、鍼灸を担う若者たちの習得の場になるように、企画・実行・構築し、継続して行くことが大切だと思います。

「地域包括ケアシステム」は、災害医療とも連携しており、今後、各市区町村でスタートする『介護予防・日常生活支援総合事業』に鍼師・灸師・あま師として参加することが可能です（個人ではできませんので、各支部ごとの契約になります）。

すでに、葛飾支部の小林先生、練馬支部の藤井先生、北支部の倉田先生方が活動を行っており、これらの支部は、『地域ケア会議』『総合事業』への参画を進めております。各市区町村に働きかけるとこで、鍼灸・鍼灸師を行政や医療関係団体および介護関係団体の方々へ知って頂く大きなチャンスでもあります。是非この機会に、より団結を強めて前進して行きましょう。

### 『介護予防・日常生活支援総合事業』

#### 通所型サービスにある多様なサービス

##### ④通所型サービスC

###### a. サービスの内容

生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム

###### b. 対象者とサービス提供の考え方

ADLやIADLの改善に向けた支援が必要なケース 等

###### c. 実施方法

直接実施、委託

###### d. 基準

内容に応じた独自の基準

###### e. サービス提供者

保健・医療の専門職（鍼灸師、マッサージ師など）

\*H27. 3. 2 厚労省老健局振興課資料より

# 公益社団法人 東京都鍼灸師会 役員紹介

平成27年5月31日 会員総会で決定



会 長  
(代表理事)  
高田 常雄



副 会 長  
【保健福祉事業部総括】  
(療養費担当)  
伊集院 克



副 会 長  
【法人管理部総括】  
(総務担当)  
岩元 健朗



業務執行理事  
【法人管理部】  
(会計担当)  
一ノ瀬 宏



業務執行理事  
【公衆衛生事業部総括】  
(普及・介護予防・都委託講習担当)  
松浦 正人



業務執行理事  
【研修事業部総括】  
有馬 太郎



業務執行理事  
【会員事業部総括】  
(組織・HP 担当)  
武内 潔



理 事  
【会員事業部】  
(厚生担当<23区>)  
森野 一巳



理 事  
【法人管理部】  
(法制担当)  
鹿野 和彦



理 事  
【研修事業部】  
(スポーツボランティア担当)  
藤井 伸康



理 事  
【会員事業部】  
(共済担当)  
遠山 茂



理 事  
【研修事業部】  
(研修・経理担当)  
青年部会長 秋元 良公



理 事  
【公衆衛生事業部】  
(広報・HP 担当)  
鳥海 春樹



監 事  
仲田 欣司



監 事  
浦山 久昌



監 事  
(公認会計士)  
三澤 卓也

# 新入会員のご紹介

会員事業部（平成27年5月31日現在）

## 【新入会員の紹介】

氏名	施術所所在地・住所	電話番号	ランク	支部
土崎 大	〒141-0032 品川区大崎1-20-16 小林ビル502 「たくみ堂おおさき」	03-6431-9446	A	品川
高橋 萌	(治療院勤務) 〒178-0063 練馬区東大泉7-50-23	03-5905-2841	B	新宿
曲淵 尚子	(治療院勤務) 〒179-0073 練馬区田柄4-34-1-205	03-3979-9353	B	豊島
似田 敦	〒186-0004 国立市中1-11-26 「あんご針灸院」	042-576-4418	A	三多摩北
田邊 由佳	(専門学校教員) 〒101-0025 千代田区神田佐久間町3-9-1 グランドコート秋葉原801	080-5400-3960	B	千代田
石田 亮	〒214-0013川崎市多摩区登戸新町137-305	090-6010-2900	B	新宿
丹羽 祐輝	(治療院勤務) 〒161-0034 新宿区上落合2-4-5	090-4096-5144	B	新宿



土崎 大



高橋 萌



曲淵 尚子



似田 敦



田邊 由佳



石田 亮



丹羽 祐輝



## 【新卒会員の紹介】

氏名	住所	電話番号
三村紗友理	〒121-0064 足立区保木間4-16-7	03-3884-5254
羽石真知子	〒134-0091 江戸川区船堀3-1-15-1F	090-4136-2614
北條 真澄	〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-2-7 麻生フラット101	044-952-4110
長谷川洋介	〒102-0082 千代田区一番町20-3 プレシエール一番町1202	03-6272-3283



三村紗友理



羽石真知子



北條 真澄



長谷川洋介

## 【学生会員入会者の紹介】

氏名	住所	学校名
松原 憲幸	西東京市保谷町4-9-4-40	日本医学柔整鍼灸専門学校1年
楠本 和敏	新宿区戸山3-4-8 メゾン・ド・ベル202	日本医学柔整鍼灸専門学校1年
渡邊 孝子	市原市八幡北町2-8-2	関東鍼灸専門学校1年
祓川 圭介	千葉市美浜区稲毛海岸3-3-6-403	日本医学柔整鍼灸専門学校1年
凶師 啓	新宿区新宿5-1-19-807	東京医療専門学校1年
橋本 和也	北区志茂4-33-5-201	日本医学柔整鍼灸専門学校3年

## 【住所その他の変更】

氏名	変更内容	電話番号	支部
山口 庸子	(施術所) 中央区日本橋室町1-9-4 井上第三ビル5F	-	中央
(学生会員) 海野 隆介	(住所) 北区赤羽2-59-10 ハイツみゆき201	-	-

お詫び…5月号掲載の新入会員小笠原保子先生の治療院の電話番号が間違っていました。

お詫びして訂正いたします。(誤) 03-6416-6031 ⇒ (正) 03-6416-0631

# 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	9,755,081	9,946,669	△ 191,588
未収金	594,300	830,800	△ 236,500
流動資産合計	10,349,381	10,777,469	△ 428,088
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	874,300	293,800	580,500
会館建設積立資産	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	20,874,300	20,293,800	580,500
(3) その他固定資産			
電話加入権	131,100	131,100	0
その他固定資産合計	131,100	131,100	0
固定資産合計	21,005,400	20,424,900	580,500
資産合計	31,354,781	31,202,369	152,412
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	561,600	△ 561,600
預り金	218,902	247,883	△ 28,981
流動負債合計	218,902	809,483	△ 590,581
2. 固定負債			
退職給付引当金	874,300	293,800	580,500
固定負債合計	874,300	293,800	580,500
負債合計	1,093,202	1,103,283	△ 10,081
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	30,261,579	30,099,086	162,493
一般正味財産合計	30,261,579	30,099,086	162,493
正味財産合計	30,261,579	30,099,086	162,493
負債及び正味財産合計	31,354,781	31,202,369	152,412

## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度				前年度	増 減
		公益目的事業	収益等事業	法人会計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
(1) 経常収益						
特定資産運用益	11,998	0	0	11,998	11,998	0
特定資産受取利息	11,998	0	0	11,998	11,998	0
受取入会金	308,000	122,500	185,500	0	195,000	113,000
受取入会金	308,000	122,500	185,500	0	195,000	113,000
受取会費	34,515,650	17,289,975	7,017,340	10,208,335	35,457,600	△ 941,950
受取会費	34,515,650	17,289,975	7,017,340	10,208,335	35,457,600	△ 941,950
保険審査等収益	10,752,012	10,752,012	0	0	10,880,490	△ 128,478
療養費審査収益	10,666,933	10,666,933	0	0	10,796,730	△ 129,797
療養費申請用紙収益	85,079	85,079	0	0	83,760	1,319
受取補助金等	120,000	120,000	0	0	1,944,500	△ 1,824,500
講習会受託収益	120,000	120,000	0	0	1,944,500	△ 1,824,500
受取研修費	2,300,600	2,300,600	0	0	1,161,100	1,139,500
研修会費収入	2,300,600	2,300,600	0	0	1,161,100	1,139,500
雑収益	3,051,332	2,187,247	860,679	3,406	952,811	2,098,521
受取利息	998	834	0	164	1,032	△ 34
雑収益	3,050,334	2,186,413	860,679	3,242	951,779	2,098,555
経常収益計	51,059,592	32,772,334	8,063,519	10,223,739	50,603,499	456,093
(2) 経常費用						
事業費	42,350,730	37,295,832	5,054,898		43,417,304	△ 1,066,574
役員報酬	1,080,036	840,060	239,976		990,000	90,036
給料手当	13,174,798	12,239,049	935,749		13,068,000	106,798
臨時雇用賃金	675,670	675,670	0		556,070	119,600
福利厚生費	1,980,408	1,777,297	203,111		2,185,300	△ 204,892
支部長手当	300,000	0	300,000		0	300,000
旅費交通費	6,667,030	5,914,716	752,314		8,288,085	△ 1,621,055
通信運搬費	3,406,838	3,106,719	300,119		3,277,887	128,951
消耗什器備品費	26,859	26,859	0		90,475	△ 63,616
消耗品費	590,598	503,212	87,386		1,004,454	△ 413,856
印刷製本費	2,551,159	2,329,666	221,493		3,562,210	△ 1,011,051
会議費	3,251,336	2,027,232	1,224,104		1,881,197	1,370,139
諸謝金	1,875,801	1,814,664	61,137		1,651,681	224,120
租税公課	254,036	253,836	200		251,300	2,736
賠償保険費	2,306,510	2,306,510	0		2,287,560	18,950
水道光熱費	9,073	7,943	1,130		10,970	△ 1,897
賃借料	2,400,000	2,100,000	300,000		2,455,700	△ 55,700
支払慶賀金	21,044	0	21,044		56,285	△ 35,241
支払弔慰金	249,274	0	249,274		454,539	△ 205,265
支払負担金	1,000	1,000	0		0	1,000
支払助成金	990,970	990,970	0		1,029,775	△ 38,805
雑費	538,290	380,429	157,861		315,816	222,474
管理費	8,546,369			8,546,369	10,891,722	△ 2,345,353
役員報酬	209,964			209,964	280,000	△ 70,036
給料手当	2,573,712			2,573,712	3,685,831	△ 1,112,119
退職給付引当金繰入額	580,500			580,500	0	580,500
福利厚生費	558,567			558,567	616,439	△ 57,872
旅費交通費	565,359			565,359	864,130	△ 298,771
通信運搬費	833,139			833,139	1,029,594	△ 196,455
消耗什器備品費	0			0	608,254	△ 608,254
消耗品費	120,094			120,094	296,039	△ 175,945
修繕費	30,850			30,850	23,100	7,750
印刷製本費	894,817			894,817	1,283,558	△ 388,741
会議費	28,079			28,079	185,291	△ 157,212
租税公課	14,564			14,564	450	14,114
水道光熱費	2,262			2,262	2,742	△ 480
賃借料	886,977			886,977	613,831	273,146
支払慶賀金	402,964			402,964	355,460	47,504
支払弔慰金	30,000			30,000	45,815	△ 15,815
支払負担金	24,000			24,000	34,000	△ 10,000
支払寄附金	35,000			35,000	25,000	10,000
雑費	755,521			755,521	942,188	△ 186,667
経常費用計	50,897,099	37,295,832	5,054,898	8,546,369	54,309,026	△ 3,411,927
詳細損益等調整前当期経常増減額	0		0	0	0	0
評価損益等計	0		0	0	0	0
当期経常増減額	162,493	△ 4,523,498	3,008,621	1,677,370	△ 3,705,527	3,868,020
<b>2. 経常外増減の部</b>						
(1) 経常外収益						
退職給付引当金取崩額	0	0	0	0	2,041,460	△ 2,041,460
その他引当金取崩額	0	0	0	0	22,700,000	△ 22,700,000
経常外収益計	0	0	0	0	24,741,460	△ 24,741,460
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	24,741,460	△ 24,741,460
当期一般正味財産増減額	162,493	△ 4,523,498	3,008,621	1,677,370	21,035,933	△ 20,873,440
一般正味財産期首残高	30,099,086				9,063,153	21,035,933
一般正味財産期末残高	30,261,579				30,099,086	162,493
<b>II 指定正味財産増減の部</b>						
当期指定正味財産増減額	0				0	0
指定正味財産期首残高	0				0	0
指定正味財産期末残高	0				0	0
<b>III 基金増減の部</b>						
当期基金増減額	0				0	0
基金期首残高	0				0	0
基金期末残高	0				0	0
<b>IV 正味財産期末残高</b>	30,261,579				30,099,086	162,493

## 「保健福祉事業部からのお知らせ」

公益社団法人 東京都鍼灸師会  
保健福祉事業部

副会長 保健福祉事業部（総括） 伊集院 克

### 「平成27年度 前期 療養費取扱者講習会」開催予告

下記の要領にて標記講習会を開催いたします。

当講習会は療養費取扱者向けのものですが、今回は冒頭の30分間に保健福祉事業部の川井大輔先生から「同意書取得のための医師へのアプローチの提案」についてお話を頂きます。

現在は取扱いが無いけれど関心がある・これから取扱ってみたい方も参加が可能です。この機会に奮って受講下さい。

#### 記

○受講料：会員は無料

○日時：平成27年7月25日（土）午後7時～

○会場：日本鍼灸師会館 2F講堂および4F会議室

○講習内容：1) 「同意書取得のための医師へのアプローチの提案」

講師：保健福祉事業部 川井大輔先生

2) 療養費の状況と諸注意

3) 遵守誓約書の提出について

3) マッサージ療養費の取扱いについて

4) その他

※出席状況は東京都福祉保健局に報告致しておりますので、療養費取扱い会員の先生が参加できない場合には、実務担当者の代理出席をお願い申し上げます。

#### 「あん摩マッサージ指圧療養費支給申請書」の受入れ開始のお知らせ

5月31日の総会で今年度事業計画が承認され、新たにマッサージの療養費支給申請書を受入れることとなりました。（当面は会員のみ対象）

はり・きゅう同様に各支部の療養費支援指導員を通じて提出が可能となります。

詳細は事務局までお問合せ下さい。

また、これまで本会を通じて申請書を提出したことがない方は、療養費取扱い初心者講習を受けて頂く必要がありますので、こちらも事務局までお願いいたします。

## セイリン工場見学のお知らせ

セイリン（株）東京：八木営業所長から案内が届きました。  
理事・支部長さんをはじめ会員の参加を募ります。先着50名です。  
申込みは事務局までお願いいたします。なお、キャンセルの場合は早目にご連絡ください。

申込み締めきり日（バス手配などの諸事情があるため）

第一次募集 締切り ⇒ 7月31日（当会会員のみ受付）

第二次募集 締切り ⇒ 9月30日（当会会員でなくとも鍼灸師ならばOK）  
(50名に満たない場合は9月の会報でお知らせします)

日 時： 平成27年11月3日（火・祝）

集 合： 東京都内（午前8時出発）—集合場所は「会報9月号」に掲載します

人 数： 50名（鍼灸師に限定）

工場住所： 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1 Tel054-365-5700

スケジュール（交通事情により変動があります）

8:00~11:30 東京都内からバスに乗車、出発。サービスエリアで小休憩含む。

11:30~12:15 昼食（セイリンで御用意致します）

12:30~14:30 セイリン到着。工場見学

14:30~15:30 セイリン出発。清水魚センターにてお土産等の購入、休憩。

15:30~19:00 魚センター出発。東京都内到着後解散。

{広報}

### ----- F A X 申込書 -----

平成27年11月3日（火・祝）セイリン工場見学を申し込みます。

第一次募集 申込日 平成27年7月 日（会員限定）

\_\_\_\_\_  
支部 氏名

\_\_\_\_\_  
支部 氏名

\_\_\_\_\_  
支部 氏名

第二次募集 申込日 平成27年9月 日（会員以外の鍼灸師）

住所 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

電話 \_\_\_\_\_ (昭和・平成 年 開業・出張専門)

## 会員総会議事録

### 公益法人 東京都鍼灸師会 平成27年会員総会 議事録

- ◎日時：平成27年5月31日（日）  
13：00～14：56
- ◎場所：日本鍼灸会館 2F会議室
- ◇議案：第一号議案 平成26年度事業報告  
第二号議案 平成26年度決算報告  
(財務諸表)〔監査報告〕  
第三号議案 平成27年度事業計画  
第四号議案 平成27年度収支予算  
第五号議案 規程の一部改正  
(1)「入会金等規程」  
(2)「療養費の取り扱いに関する規則」  
第六号議案 役員の改選
- ◇司会：松浦正人（理事）
- ◇当日出席会員：39名（理事・監事を含む）、委任状提出372名
- ◇出席理事：高田常雄、伊集院克、岩元健朗、天野寛敏、一ノ瀬宏、芝田武司、松浦正人、樋口陽一、森野一巳、鹿野和彦、藤井伸康
- ◇出席監事：浦山久昌、仲田欣司、三澤卓也
- ◎開会の辞 副会長 岩元健朗
- ◎会長挨拶 会長 高田常雄  
〔議長に黒河内和明氏（武蔵野三鷹支部）、副議長に倉田克俊氏（北支部）を選出。議事録署名人には佐々木チエ子氏（北支部）及び安川三郎氏（文京支部）を選出。〕

#### 【議 事】

□黒河内和明議長：現在、会員総数は622名で、総会定足数は312名である。出席者が35名（最終39名）、委任状提出は372名で総数407名（最終411名）となり、委任状を含む出席者数が過半数を超えているので、本総会は成立していることを報告する。

初めに第一号議案の「平成26年度事業報告」について高田会長より説明していただく。

<高田常雄会長より第一号議案について説明>

□黒河内議長：事業報告について質疑に入るが、発言者は所属支部と氏名を名乗ってからお願いしたい。

○増田眞彦氏（三多摩東）：総会資料18頁の「専門学校優秀卒業生表彰及び卒業式参加」とあるが、専門学校の選考基準というものがあるのか。

○高田会長：卒業式だが、以前は学校協会に加入している専門学校だけだったが、今は出席依頼があれば行くようにしている。また、東京都鍼灸師会賞や日本鍼灸師会賞を受けた優秀な学生については、一年間東鍼会の学術講習会等の受講料を無料にしている。

□黒河内議長：ほかにないようなので、第一号議案について承認の方は挙手をお願いする。

<全員挙手>

□黒河内議長：第一号議案は承認された。次に、第二号議案「平成26年度決算報告」について、一ノ瀬宏理事より説明していただく。

<一ノ瀬理事より第二号議案について説明>

□黒河内議長：「監査報告」を浦山久昌監事よりお願いする。

<浦山監事より監査報告>

□黒河内議長：第二号議案について質問のある方は挙手願いたい。

<質問等なし>

□黒河内議長：第二号議案及び監査報告について承認の方は挙手をお願いしたい。

<全員挙手>

□黒河内議長：第二号議案は承認された。次に第三号議案「平成27年度事業計画」について、高田会長より説明がある。

<高田会長より第三号議案について説明>

□黒河内議長：ただ今の第三号議案について質問のある方は挙手をお願いしたい。

○呉仁隆氏（台東）：スポーツボランティアのところだが、具体的に協力している行事の名前を教えてください。

○藤井伸康理事：東京マラソンは実績の数字を伸ばしているが、そのほかは各地域で協力している。

○呉氏（台東）：実際、荒川マラソンなどがあるが、

- 具体的に東鍼会が関わっているマラソンボランティアの行事はあるのか。
- 藤井理事：新宿支部など支部でやっているところがあるが、今後支援を広げていきたいと考えている。
- 高田会長：27年度は東京マラソン以外で金銭面での支援は難しいが、物質的・人的な面では支援していくという考えである。したがって、東鍼会の名前を出して各地域でやってもらうのは差し支えない。
- 相馬悦孝氏（武蔵野三鷹）：会員数の減少は会費も減り、事業計画にも大きく影響するので心配である。この会員数の拡大に向けての対策をどう考えているのかお尋ねしたい。
- 高田会長：A会員が524名、B会員が82名で、特A12名、特B12名で昨年度から制度開始した新卒会員は15名という状況である。先だって新入会員と新卒会員の集まりを持ったが、そういう場での意見を大事にして会の運営をやっていく考えである。入って3年目でやめていく人や高齢で廃業する会員が多く見受けられるため、各地域や支部を回って状況を把握したり、意見を聞くことを考えている。
- 相馬悦孝氏（武蔵野三鷹）：会員獲得に大きな原動力があるのは支部ではないかと思う。新卒の方に加入してもらう努力も必要だと思うが、経済的な基盤ができないと会費を納めるのもままならない。やはり支部活動の活性化を図る必要があるので、本部としても今年度、支部活動をいかに活性化させるかの検討を是非お願いしたい。
- 田村憲彦氏（板橋）：介護保険制度は、今年4月から虚弱な高齢者から一般高齢者を対象とする「総合事業」に変わった。これに伴いすべての会員が介護保険に参加できるようにしていったらよいと思うが、会として何か計画があるのか。
- 高田会長：日鍼会の介護保険担当をしている関係で、5月28日に厚労省老人保健課と第一回目の協議を行った。新しい通所型サービスのうち、「通所介護」はこれまでの介護保険の延長だが、そのほかに多様なサービスとして「通所型サービスA」「通所型サービスB」「通所型サービスC」という仕組みが設けられ、「通所型サービスC」に「保健・医療の専門職」として鍼灸師も参画できるようになった。治療院でもこのサービスの実施が可能で、高齢者をサポートすることができる。ただ、鍼灸というだけではなく、あくまで生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善などの指導をすることで、区市町村からの費用を得ることができる。自治体によってやり方が違うので、支部長会を開いて取り組みを始めたいと考えている。また、認知症対策の課題もあるので、鍼灸治療と並行して認知症サポーターの「オレンジリング」を取得できる「認知症予防セミナー」を豊島区の後援で7月29日にこの会場で開催することになっている。
- 田村氏（板橋）：鍼灸師が介護保険に関わっていくのは大事だと思うので、是非取り組みをお願いしたい。
- 関口知次氏（荒川）：鍼灸臨床スポーツトレーナー制度だが、日時は決まっているのか。
- 岩元副会長：9月27日、10月25日、12月20日の3回、90分の2コマで予定しているが、内容・講師は調整中である。東鍼会ホームページでも確認していただきたい。
- 増田氏（三多摩東）：オレンジリングのことだが、西東京市でも講習会があるが日中なので開業鍼灸師が参加しにくい。東鍼会で日曜日に開催することも検討してほしい。それと、どうしても2020年のオリンピックに向けて事業が集中しがちだが、われわれ支部の鍼灸師では経営上の問題とか事故対応とかに関心があり、一過性のスポーツだけではなくことも考慮して計画を進めていただきたい。
- 黒河内議長：第三号議案「平成27年度事業計画」について、承認いただける方は挙手をお願いしたい。
- <全員挙手>
- 黒河内議長：第三号議案は承認された。次に、第四号議案「平成27年度収支予算案」の審議に移るので、一ノ瀬理事に説明をお願いしたい。
- <一ノ瀬理事より第四号議案について説明>
- 黒河内議長：この件について質問のある方は挙手願いたい。
- 関口氏（荒川）：各事業をどう見直しているのか聞きたい。

- 一ノ瀬理事：見直しでは、公衆衛生事業部では「都民公開講座」を中止、また会員事業部では「新年会・文化事業」の予算をゼロとした。
- 関口氏（荒川）：具体的に事業ごとの執行残額がどうだったのか知りたい。
- 一ノ瀬理事：議案集の29頁に予算事業別の決算状況を書いている。31ページを見ていただくと、表の一番右欄に「不用額」を表記しているが、各事業の決算額を踏まえて予算案を検討した。
- 林久嗣氏（練馬）：収入で「保険審査等収入額」が昨年度に比べ100万円増えているが、どうしてなのか。
- 小林潤一郎理事代行：これは新たに始める「マッサージ療養費」の維持費増加分である。
- 林氏（練馬）：事業計画では試行となっており、収入の見込みが立つのか。
- 小林理事代行：努力目標という面もあるが、会員アンケート調査を踏まえ、この程度の収入を確保しようということで計上させていただいた。
- 増田氏（三多摩東）：収入確保という面から、物品の販売やコマーシャルなどを検討してもよいのではないかと思う。
- 林真紀子氏（目黒）：毎年卒業生が多いのに入会者が少ないというのに危機感を持っている。昨年せっかく「新卒会員制度」をつくったのだから、もっと学校の先生に理解をしてもらい、東鍼会に入るのが標準となるように働きかけをする必要があると思う。
- 高田会長：今度の8月に行う関東ブロック会議には、初めて各専門学校先生に参加してもらうことになっている。なお、本日で出席の村上哲二先生にコメントをいただきたい。
- 村上哲二氏（新宿）：呉竹学園の村上です。うちの学校では校長が先頭にたって卒業生に学会や団体に加入してもらおうと取り組んでいる。また高田会長や日鍼会の仲野会長に卒業式に来て案内をしていただいたり、卒業生にパンフレットを配布させてもらっている。さらに、学校の地元である新宿支部のハーフマラソンや東京マラソンのポスター掲示で参加を呼びかけたり、在学のうちから団体との交流が図られるよう努めているところである。
- 増田氏（三多摩東）：私の出身校の四谷では「インターシップ」の制度があり、何人かの学生を研修として受け入れている。会としてもそうした学校の制度とリンクさせることを考えて、やる気のある学生にアプローチしてみたらどうか。
- 黒河内議長：第四号議案「平成27年収支予算案」についてお諮りする。承認いただける方は挙手をお願いしたい。
- <全員挙手>
- 黒河内議長：第四号議案は承認されました。次に、第五号議案に入るが、まず第五号議案(1)「入会金等規定の改正」について、樋口陽一理事より説明いただく。
- <樋口陽一理事より説明>
- 秋元良公氏（大田）：正会員と賛助会員の区別が分からないので教えてほしい。
- 樋口理事：正会員は「A会費会員」、「B会費会員」、それに「特別A会費会員」の3種類である。そのほか賛助会として、家族会員の「C会員」、高齢で30年以上在籍の「特別B会費会員」、学校を卒業後5年間に限り入会ができて会費が安い「新卒会員」、「学生会員」それに事業者である「協会員」がある。
- 黒河内議長：つづいて第五号議案(2)の「療養費の取り扱い規則」の一部改正について小林潤一郎理事代行から説明する。
- <小林理事代行より説明>
- 黒河内議長：質問等がなければ、第五号議案の2件について承認いただける方は挙手をお願いしたい。
- <全員挙手>
- 黒河内議長：全員挙手なので第五号議案は承認された。つづいて第六号議案「役員の改選」に移る。金子國明選挙管理委員長より説明いただく。
- 金子國明選挙管理委員長：3月25日に選挙の告示、立候補の届出期間は4月1日から4月30日までとして正会員に周知した。その結果、立候補の届出者は理事が13名、監事が2名であった。理事の定数は定款では10名～16名、監事は外部監事を除き2名以内となっており、いずれも定数内であった。したがって、今回は投票による選挙はなく、お手元の名簿のとおり立候補された

方々が当選人ということになった。

- 黒河内議長：ただ今の報告のとおり立候補届出者について、信任していただくための用紙が配られる。信任される場合は、用紙記載の理事及び監事の立候補者名の上欄に○をつけていただきたい。
- 樋口理事：補足させていただく。役員改選については選挙が合った場合には信任はいらない。しかし今回、立候補者が定数に達しなかったので信任投票を行うことになった。
- 増田氏（三多摩東）：今事務長の声が聞こえてきたが、選挙をやるにあたってやる側が統一していないのはどういうことか。それにこういう投票は本来シークレットでやるべきではないのか。選挙管理委員会は何をしているのか。
- 金子委員長：選挙管理委員会は選挙をするかしないかの判断はするが、信任の方法については総会でのことなので我々には権限がない。
- 高田会長：本来、この場ではなく別室で記入していただくのがよいと思うが、日鍼会でも同様のやり方をしているのでこういう形をとってしまった。
- 黒河内議長：ということなので、ご了解いただきたい。では今配られた用紙に記入いただき、あとで回収させてもらう。

<集計のため休憩>

- 黒河内議長：集計結果、立候補された理事及び監事候補全員が過半数（20名以上）の信任を得たので決定とする。

（理事13名）

武内 潔先生  
一ノ瀬宏先生  
松浦正人先生  
伊集院克先生  
鹿野和彦先生  
岩元健朗先生  
森野一巳先生  
藤井伸康先生  
遠山 茂先生  
高田常雄先生  
有馬太郎先生  
秋元良公先生  
鳥海春樹先生  
（監事2名）  
仲田欣司先生

浦山久昌先生

- 黒河内議長：つづいて外部監事の選任についてお諮りする。議案集54ページ、定款第26条にもとづき外部監事として「三澤卓也氏」を選任することにご承認いただける方は拍手をお願いする。

<全員拍手>

- 黒河内議長：承認を決定する。では、これから正副会長選任のため、新役員の方には別室にて協議をお願いするので暫時休憩とする。

<休憩>

- 黒河内議長：発表させていただく。会長は高田常雄先生、副会長に伊集院克先生、同じく副会長には岩元健朗先生となった。それでは高田会長からご挨拶いただく。

<高田会長の挨拶及び新任役員の自己紹介>

<武内潔理事、鳥海春樹理事、秋元良公理事、遠山茂理事、有馬太郎理事の自己紹介>

- 黒河内議長：本日の議案はすべて審議された。以上で、平成27年の会員総会の議事進行の役を終わらせていただく。

◎開会の辞 副会長 伊集院 克

以上

## 理事会議事録

◎日時：平成27年5月31日（水）

10：00～11：45

◎場所：日本鍼灸会館 2F会議室

◎出席者

◇理事・監事 12名

（会 長）高田常雄

（副会長）伊集院克、岩元健朗

（理 事）天野寛敏、一ノ瀬宏、芝田武司、  
松浦正人、樋口陽一、森野一巳、  
藤井伸康

（監 事）仲田欣司、浦山久昌

◇同席者・事務局 4名 小林潤一郎、黒河内和明、  
倉田克俊、山中利道

◎議長挨拶 高田常雄会長

【案件】

◎審議案件

1. 入退会等審査の件

◇4月及び5月の入退会者等については、すでにメールによる稟議により承認がなされているが、伊集院克副会長から改めて説明と確認がなされ、挙手により全員一致で承認された。

〔4月〕入会者3名、新卒会員入会者3名、  
退会者2名、休会1名、  
学生会員入会者3名

〔5月〕入会者4名、新卒会員入会者1名、  
退会者11名、学生会員入会者3名

2. 平成27年会員総会の件

◇岩元健朗副会長より総会次第の確認と追加議案1件がある旨説明があった。

◇小林潤一郎健保委員長より議案第5号の(2)の追加議案の説明があり、療養費の取り扱いに関して療養費取扱規則に「遵守誓約書」の義務づけとともに、あん摩マッサージ師を加える提案があった。またこれに伴い既存の「要綱」は廃止する。

○森野一巳理事：遵守誓約書の7にマッサージは「濃厚な施術とならないよう努めること」とあるが、濃厚とは何部位を想定しているのか。

○小林委員長：部位の制限というよりは回数制限という意味合いだ。現実にはマッサージの場合、5部位ということになる。

○天野寛敏理事：「濃厚な」という文言は曖昧だ。1か月あたりの施術回数の過多ということなのだから、そういう指導をすべきだ。

○小林委員長：具体的に回数まで書くには難しいが、ケースバイケースで対応するしかない。「濃厚な」という言葉は協定で共通に使われている。

○伊集院副会長：柔整の場合は急性の外傷性疾患に関わるということで、急性なので初めは濃厚でそのあとは間隔をあけていくというのが一般的な考え方だ。しかし、はりきゅうの場合は、慢性のケースが多いため毎日やるのが効果的かどうかはそのエビデンスを明らかにしていく必要がある。そして内規で具体的な回数を決めておき、それを超えた場合には指導するということが実際的ではないか。

○小林委員長：内規については今後検討させていた

だきたい。

◇追加議案の提案である「療養費の取り扱いに関する規則」、「療養費取り扱い細則」、「療養費等の取り扱いに関する遵守誓約書」について、全員の賛成で決定した。

◇岩元副会長より第6号議案の「役員選任」の件は立候補が定数内となったので、出席者に立候補者を列記した信任用紙を配付し、○印により過半数の信任が得られた者を決定する方法で全員の賛意を得た。

○黒河内和明支部長：信任は会員全員、それとも出席者の過半数なのか。

○岩元副会長：出席者の過半数である。

3. 東鍼会及び日鍼会の役員選挙の件

◇高田議長より東鍼会及び日鍼会の立候補者について説明があり、全員の了承を得た。また、日鍼会の代議員総会の日程の関係で、次回の理事会を6月3日に開催する。

4. 関東ブロック会議開催の件

◇岩元副会長より関東ブロック会議の開催について説明・参加依頼があり、全員の了解を得た。

・担当 神奈川県鍼灸師会

・日時 平成27年8月2日 13時

・会場 ナビオス横浜

5. ネパール大地震への支援依頼の件

○岩元副会長：「よもぎの会」というボランティア団体から、ネパール大地震の件で支援要請があったが、対応については理事の意見を聞いたうえで本会としての方針を決定したい。

○藤井伸康理事：この団体の村山恵子さんは、練馬区の鍼灸師でボランティア活動をされていて、支部が行う「練馬まつり」でも写真展示や募金箱を置いたりしている。ネパールの復興には長期間かかるので、今後チャリティなどに協力していこうと考えている。

○岩元副会長：例えば寄附の口座を東鍼会ホームページに掲載するとか、棒灸のチャリティ会場の便宜を図るとか考えられるが。

○森野理事：以前、この二階でお灸の実演を行った

が、その時煙が立ち込め排煙するのが大変だったことがある。

- 浦山久昌監事：この場所は排煙装置が小さく、過去の経験から煙が出るイベントは無理だと思う。
- 藤井理事：ネパールの人たちの支援というよりも「よもぎの会」の活動に対する支援を求めているようだ。
- 樋口陽一理事：ネパールの人に対する支援ではなくて、代表の畑さんの活動に対する支援だということを確認にすべきだ。
- 天野理事・ホームページには、ネパール大地震に対する募金と鍼灸師のボランティア活動に対する募金の二通りを載せたらどうかと思う。
- 高田議長：この件について、支援の方法やホームページ掲載などは、確認した上で対応を考えるということにしたい。

#### ◎報告事項

##### 1. 保険審査報告

- ◇4・5月審査分について小林健保委員長より報告があった。また、マッサージ療養費の新規取り扱いについては、会員にハガキで周知することとし、担当は金信行先生に願することになっている。

##### 2. 各部報告

- ◇研修事業部
- ◇保健福祉事業部
- ◇会員事業部

##### 3. その他

- ◇支部長の変更（大田支部、目黒支部）
- ◇松浦理事から勇美記念財団の「在宅医療推進のための会」の正規メンバーとして参加することになったこと、また7月29日に「認知症予防セミナー」を開催する旨の案内があった。
- ◇小林健保委員長より地域包括支援センター3か所を訪問したとの報告があった。また藤井理事より練馬区では4か所の地域包括支援センター会議への参加を要請されたとの報告があった。
- ◇岩元副会長より4月9日に新入会員説明会（ガイダンス）の開催報告があった。
- ◇高田議長より以下の報告があった。
- \* 3月に入会された蛸子慶三先生は東京女子医科大

東洋医学研究所に勤務されていて、地域の鍼灸院とのつながりが欲しいとの話があった。そこで5月21日に岩元副会長と一緒に東京女子医科大に担当教授らに会ってきた。話が具体的にできればまた報告したい。

- \*介護予防の関連で、厚労省の「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料」を配付したが、先日厚労省の担当者のお話では、「通所介護サービス」のほか「多様なサービス」という生活機能改善の通所型サービスという類型が示され、国家資格を持つ鍼灸師の参画も可能だということである。そうしたサービスを鍼灸師の治療院で行う場合には自治体から費用が出る仕組みなので、今後、各支部単位での行政と連携して取り組んでいくことが望ましいと思っている。

以上

## 理事会議事録

◎日時：平成27年6月3日（水）

19:00～19:55

◎場所：日本鍼灸会館 2F会議室

◎出席者

◇理事・監事 15名

（会 長）高田常雄

（副会長）伊集院克、岩元健朗

（理 事）一ノ瀬宏、松浦正人、有馬太郎、  
武内 潔、森野一巳、鹿野和彦、  
藤井伸康、遠山 茂、秋元良公、  
鳥海春樹

（監 事）仲田欣司、浦山久昌

◇旧理事 3名

天野寛敏、芝田武司、樋口陽一

◇同席者・事務局 2名

小林潤一郎、山中利道

◎議長挨拶 高田常雄会長

- 6月の理事会は、日鍼会の代議員総会が今度の日曜日にあることと、日鍼会の業務執行理事会の報告をする必要があるため、予定を変更し、本日の開催になった。

## 【案件】

### ◎審議案件

#### 1. 新役員の担当業務の件

◇高田常雄議長（会長）より各理事の担当業務についての案が示され、全員の了承が得られた。

#### 2. 入退会審査の件

◇岩元健朗副会長より下記の入退会者等についての説明があり、全員一致で承認された。

[入会申請 1名、新卒会員入会申請 2名、変更届 1名、学生退会 7名]

※なお、事務局より理事会開催日の変更により提出書類が整わなかった入会者とランク変更希望者がいるため、6月10日時点で理事メールにより追加審査をお願いしたいとの説明があり、了承された。

#### 3. その他

##### (1) 日鍼会事業に対する質問の件

◇平成26年度の日鍼会決算書の中で、介護予防運動指導員養成講座の受講料の処理についての疑義が出されたことについて、当事者である高田議長より説明があった。

○鹿野和彦理事：日鍼会の経理上の問題なのに東鍼会の場で説明する必要があるのか。

○高田議長：私がかかわったことであり、いろんな場面で話に出ると思われるので東鍼会の理事・代議員は知っておいてほしいということで、経緯を説明した。

##### (2) 厚労省全国担当課長会議資料の件

◇高田議長から介護予防や高齢者福祉に関する支援策の中で、特に通所型サービスの展開が求められているため、各人が自治体に積極的にアプローチしていてもらいたい。

○浦山久昌監事：厚労省の会議資料だが、これが末端の市区町村にいつ頃降りていくのか知りたい。それが分からないと、先走ってアクションを起こすと、逆効果になってしまう恐れがある。

○高田議長：資料が相当分厚いので各都道府県の担当者が理解するには、夏頃までかかるのではないかと。それから市区町村に降りていくのは年末ぐらいになると思われる。その頃は来年度の計画や予算を検討する時期なので、アプローチするには

よいかと思う。

○松浦正人理事：私もこの厚労省会議に出席したが、その翌日に地元自治体の担当課長にこういう会議がありましたね、と問いかけたところ全然知らないとの返事だった。したがって、まだまだ十分に情報が流れていないので、接触には十分状況を考慮する必要がある。

### ◎報告事項

#### 1. 日鍼会臨床研修会の開催案内

#### 2. 各部報告

#### 3. その他

以上で議事を終了し、新役員の承諾書署名捺印、新旧役員の引き継ぎを行って閉会となった。

以上



## 支部だより

### 江戸川支部

平成27年4月26日(日) 16:00～  
グリーンパレス404号室にて江戸川支部総会を開催しました。今後の活動内容などが話し合わせ、17:00～屋形船での懇親会が行われました。新中川から葛西臨海公園付近の東京湾まで周遊し、生演奏と江戸前料理を楽しみながら親睦を深めました。



江戸川支部 西沢淑公

### 豊島支部

#### 塚本此清先生卒寿の祝い



豊島支部会員の塚本此清先生が本年1月に現役のまま90歳を迎えられました。それを記念して5月30日(土)、豊島支部と豊島区鍼灸師会の合同総会後に鍼灸会館で「塚本先生の卒寿を祝う会」を開催しました。

前半は先生の講話で、現在約10年の開きがある健康寿命と平均寿命の差をいかに縮めて健康長寿をまっとうしていけばよいのか、そのための四つのコツを先生独特のユーモアを交えてお話しいただきました。

- ①「テクテク」・・・よく歩くこと
- ②「ニコニコ」・・・顔だけでなくお腹でも笑うこと
- ③「カミカミ」・・・歯を丈夫に保つこと
- ④「ドキドキ」・・・感動を忘れないこと

またご自身の健康を保つ方法のひとつとして「あいうべ体操」(詳しくはネットで検索してください)をご披露していただきました。

前半終了後、出席者全員の祝福の気持ちを込めて記念品を謹呈いたしました。

後半は場所を移して、改めて祝杯をあげ、プライベートなお話しも伺いながら美味しい料理とともに懇談の場が盛り上がりました。

豊島支部 曲淵善之

## 「地域ケア会議」情報

### 【墨田】

墨田支部長・墨田区三療師連合会会長  
森野一巳

平成26年11月18日

地域ケア会議の参加について墨田区の担当者に会った。内容は、地域ケア会議に墨田支部会員の参加要望し、行政担当者は鍼灸師が参加する地域ケア会議について異論は無かった。

※墨田区の各地域包括センターのケア会議に鍼灸師が必要とされる場合の会議には出席を案内します。また、地域包括センターのケア会議について連絡をする約束をした。

平成27年1月9日

墨田区三療師新年会宴席でお聞きした墨田区幹部の私信では、まだ墨田区では具体的な内容は出来ていないとのご返事をいただいた。

### 【葛飾】

葛飾支部長 小林潤一郎

葛飾支部では、副支部長：小口政博氏と小林とで区内の関係各所を訪問しています。

まだ始まったところですが、これまでの取り組みを報告致します。

平成27年3月27日

葛飾区役所訪問

葛飾区福祉部高齢支援課長

地域ケア推進係長

○挨拶と今後についての意見交換。

○小林から、医療・介護サービスの提供体制改革後の姿の図から、医療・介護・住まい・予防・生活支援についてはり師・きゅう師が役立ちうる例を挙げて説明。

○課長より、多職種連携の場は「地域ケア会議」となり、その主宰は高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）となることを伺う。

○係長より、区内に7か所ある地域包括支援センターを紹介頂いた。

平成27年4月10日

地域包括支援センター青戸訪問

○葛飾区の現状について説明を頂く：7つの包括支援センターがある。すべて区の委託を受けて行っている。葛飾区には、基幹型包括支援センターがなく、各包括支援センターが個別に動いている。地域との関わりには、包括支援センター間で「温度差」がある。過去には、高齢者虐待について、民生委員・町内会・消防などで会議を持った。今回、厚労省は医療を含めて連携といているが、その体制はまだ整っていない。地域ケア会議のテーマをどう広げていくかも今後は検討していく。災害時に弱者の方をどう、避難させていくかもそのひとつ。

○他所での地域ケア会議の参考例のお話頂いた。  
和光市：ケアプランのチェックをしている。足立区：基幹型のもとに20以上の包括支援センターがあり、災害時避難は力をいれているようだ。

平成27年4月16日

地域包括支援センター奥戸訪問

○地域包括ケアセンター奥戸は、これまで10年かけて地域との関係づくりに注力をしてきた。地域ケアシステム開始をうけ、地域ケア会議を夏から秋に行いたい。鍼灸師の方も参加して頂けると嬉しい。これまで、医療の方とは個別にやり取りはあったが、地域の関係者が一堂に会する場には、参加がなかったのが実情である。

○認知症の緩和ケアで、スウェーデンのタクティールケアの勉強会を開催する。

### 【コメント】

地域包括ケアシステムの件で、既に区・市役所を訪問された支部は多いと思いますが、もしまだでしたら、先ず区・市役所の担当課で地域包括支援センターの情報を教えて頂き、基幹型があれば第一にそちらへ、もしなければ関わりの深い地域のセンターからご挨拶に行かれるとよいかと思います。

すぐに鍼灸の話にはならないかも知れませんが、地域で活動している者として何か役に立てないかという視点から入っていくと受入れて頂けるという印象です。

## 厚生部

**慶事** おめでとうございます。

三多摩西支部 鳴田浩司氏 3月7日 次男誕生

**弔事** お悔やみ申し上げます。

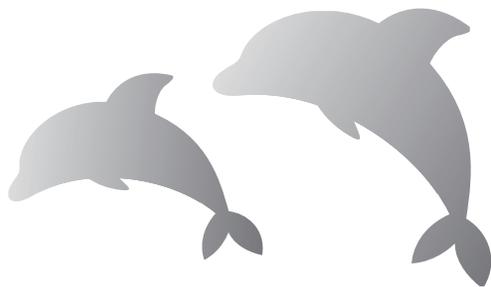
北支部 小野 済氏 4月14日 本人死去(60歳)

### 【退会者のお知らせ】

氏名	ランク	支部
藤枝 達治	A	墨田
町田嘉之助	A	墨田
橋元 千幸	A	中央
齋藤 和己	A	品川
田上 毅	A	中野
唐沢 正広	A	世田谷
酒井 博子	A	渋谷
斉藤 登	A	杉並
高橋 知子	A	杉並
小野 済	A	北
沼澤由美子	A	北
本村 博昭	A	練馬
増田 勝弘	HA	三多摩北

## 会長日誌

- 4月3日 東京都医師会事務局長新井祐司氏  
「お別れの会」(伊集院・岩元副会長  
同行)
- 8日 N業務執行委員会  
顧問：神林都議会議員の会
- 9日 新入会員説明会
- 11日 合同会議
- 12日 第9回法改正準備室
- 16日 小野済先生葬儀
- 19日 Nスキルアップ研修in東京
- 23日 会計監査
- 25・26日 第17回日本在宅医学会  
もりおか大会(松浦理事同行)
- 5月4日 N業務執行委員会
- 10日 N理事会
- 14日 新入会員説明会
- 15日 N日鍼会理事会
- 17日 在宅鍼灸医療を推進する会  
(松浦理事同席)
- 21日 東京女子医大 東洋医学診療部訪問  
(岩元副会長同行)
- 22日 「第1回 在宅医療を推進する会」  
(松浦理事同席)
- 23・24日 第64回 全日本鍼灸学会学術大会  
inふくしま  
「地域包括ケアシステムにおける鍼  
灸師の役割と課題」について講演
- 28日 H27年度第1回厚労省老健局  
老人保健課定期協議
- 31日 東京都鍼灸師会会員総会



**(公社) 東京都鍼灸師会協力会員**

<p><b>株式会社 カナケン</b></p> <p>〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-39 TEL:045-901-5471 URL: <a href="http://www.e-kenkou.jp">http://www.e-kenkou.jp</a> E-mail: <a href="mailto:info@kanaken.co.jp">info@kanaken.co.jp</a></p>	<p><b>株式会社 明 健 社</b></p> <p>〒181-0013 三鷹市下連雀7-6-36 TEL:0422-71-8801 URL: <a href="http://www.meikensha.com">http://www.meikensha.com</a> E-mail: <a href="mailto:1@meikensha.com">1@meikensha.com</a></p>
<p><b>(有)前田豊吉商店</b></p> <p>〒167-0052 杉並区南荻窪1-22-15 TEL:03-3332-7634 URL: <a href="http://www.needlemaeda.com">http://www.needlemaeda.com</a> E-mail: <a href="mailto:harimaeda@pop01.odn.ne.jp">harimaeda@pop01.odn.ne.jp</a></p>	<p><b>セイリン株式会社 東京営業所</b></p> <p>〒103-0027 中央区日本橋3-7-10 タンペイ日本橋ビル3F TEL:03-3276-9390 URL: <a href="http://www.seirin.tv">http://www.seirin.tv</a></p>

協力会員募集中

発行者  公益社団法人 **東京都鍼灸師会** 会長 高田 常雄  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-44-14 日本鍼灸会館内  
電 話 03-3985-7501 FAX 03-3985-7526  
メールアドレス [info@harikyu-tokyo.or.jp](mailto:info@harikyu-tokyo.or.jp)  
《広報委員》鳥海 春樹 天野 寛敏 増田 眞彦 原 珠枝 埜 敬茂